

ヨコマガ

2013.01

ヨココクキャンパスマガジン

特集:

知性って、
なんだろう。

4つの「知」とは
MOS世界学生大会
スポーツと知性
社会に必要な知性
学士と修士と博士
メガネヨココク生

ヨココク読書部
先生の横顔
情熱大学



YNU
横浜国立大学

通刊53号

新しいことを知る喜びが
積みかさなると、
自然と勉強をつづけてきた。



Word2007部門で学生世界第2位に輝いた星野さん

決勝の舞台は、ラスベガス。

Word「Excel PowerPointのスキルを競い合うMOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)世界学生大会。2012年は、世界53カ国から約52万人の学生が参加。7月30日、ラスベガス。Word2007部門の日本代表として決勝戦の舞台に立ったのは、星野亜衣さん(工学部生産工学科4年)だ。

「出題形式は日本で受けるMOS試験とほぼ同じでしたが、問題に挑む気持ちがあるでちがいました。ここまで来たら一番になりたいという思いがプレッシャーとなり、はじまる前は緊張していましたね。」

「各国の代表となった約50名の学生が、壁際に設置されたパソコンに向かう。画面に映し出されているのはWordの文書。出場者は画面の下に表示される問題文に従い文書を書き変えていく。その結果の正確さ、スピード、美しさが得点に換算されるのだ。」

「はじまってからは、いつも通り問題を解くことに集中しました。日本で試験を受ける時は、いつも一番の問題を解き終えて部屋を出ていたのに、決勝戦では先に出ていく人が多かった。一問か二問、わからない問題もあって、レベルの高さを感じましたね。」



「できることの幅が広い」という理由から、卒業後は大手印刷会社へ

新しいことを知る喜び。

MOS世界学生大会2012のプログラムは4日間。初日は大会受付の後、立食パーティが行われる。決勝戦は2日目。その夜はシルク・ドゥ・ソレイユの鑑賞会があり、3日目には1日かけてグラランドキャニオンツアー。約200名の参加者が自由に交流する機会が用意されているのだ。

「正直、英語は得意ではないのですが、ジェスチャーと知っている単語でなんとかコミュニケーションをとりました。ラスベガスの雰囲気は圧倒されたこともあり、4日間の経験を通じて、自分が知っている世界の小ささに気づかされたんです。」

卒業後は技術者として、電子デバイスの開発に携わるつもりだったという星野さん。大会での経験を通じて、将来のイメージは大きく変わっていった。



MOS試験の配信元であるサーティポート社(米)から贈られたメダルと賞状

「この大会に参加したおかげで、世界中に友達ができました。そして、彼らとは今でもSNSでコミュニケーションをとっているんです。ITの力で人と人をつなげる仕事をしたい。そんな思いから、「ITパスポート」「CCNA」「ITPIC」といったネットワーク系の資格をとるための勉強をはじめました。」

「知らなかったことを知ることが何よりも楽しい。だから、勉強を苦しいと感じたことは一度もありません。最初は授業でうまく使えなかった悔しさからはじめたMicrosoft Officeの勉強も、新しい機能を知る喜びが積み重なって、気づくと世界大会に出るまで続いていたんです。」

柔道100kg級のフイリピン代表選手としてオリンピックに出場した保科さん



オリンピック期間中は各国の出場者とともに練習を積んだ



強くなるだけでなく、
その力をどれだけ
社会のために生かせるか。

柔道に、人間として
育ててもらった。

本人の父とフイリピン人の母の間に生まれた保科知彦さん(教育学研究科修士課程)は、昨年のロンドンオリンピックに柔道100kg超級フイリピン代表として出場。柔道選手としての夢を叶えると同時に、大

学院では教育学を学び、さらには群馬県の高等学校で保健・体育、柔道を教える常勤講師も務めている。

「中学校からはじめた柔道。幼いころに父を亡くした自分にとって、先生は父親代わりでもありました。今度は柔道を通して、自分が人に何かを伝えたい。そんなことを考えて志した教育者の道。研究室の門を叩いた木村

オリンピック選手から、
教育者へ。

学もある中、ヨコゴクの大学院を選んだのは、人間形成にまで関わる、広い意味での教育者になったから。」

教えるならもっと強い大

「選手村にいた2カ月間、常に世界と時間を共有している感覚がありました。これだけスポーツには価値があつて、国際的なツールとして有効だということが実感できたんです。」

「3度目の正直を信じていたけど、やっぱり強かった。終わった後は、悔しかったですね。」

「選手村にいた2カ月間、常に世界と時間を共有している感覚がありました。これだけスポーツには価値があつて、国際的なツールとして有効だということを実感できたんです。」

「柔道が強ければなんでもいい。柔道界には少なからずそんな風潮があります。そんな中、木村先生は人間的な

「柔道指導者として、技術を伝授すること。オリンピック出場選手として、努力することの大切さを教えること。武道を通じて、礼を身につけさせること。これまでお世話になった柔道で学んだことを、惜しみなく生徒たちに伝えていきたいと思っています。」

YNUオリジナル グッズのお知らせ

新商品!

横国オリジナル
ハローキティ
クリアフォルダ
¥200
©1976, 2013 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No. G532401



新商品!

ビジネスサークル
"NoN"企画
ルーズリーフケース
¥220



帰省のお土産に!

YNUサブ
SEAGULL
8枚入り ¥600
15枚入り ¥1,000



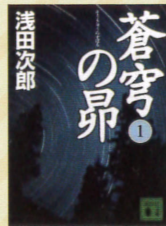
横国煎餅
12枚入り ¥650
20枚入り ¥1,000



大学生協にて発売中!

「蒼穹の昴」

浅田次郎 著



教育人間科学部 2年
飯田夏実

清朝末期を舞台とした壮大な歴史小説。主人公の貧しい少年、春児が時の権力者である西太后に仕え、人生を切り拓いていくストーリー。兄弟愛・家族愛など…涙無くしては読めない一冊です!

「このページを読む者に永遠の呪いあれ」

マヌエル・ブイグ 著



研究推進部産学連携課
知的財産係
久保田雅秋

読書はタイトルだけでも面白い。本屋さんでたくさんの背表紙を眺めれば、それだけで楽しい読書体験ができます。

「都市の感触」

日野啓三 著



学務部学生支援課
学生支援係
長野達浩

知らないまちを歩くのは至上の喜びです。それが夜の、静まり返った東京のオフィス街であればなおさら。これにほんの少しでも興味を感じたらこの本をどうぞ。楽しいですよ。

「本へのとびら——岩波少年文庫を語る」

宮崎駿 著

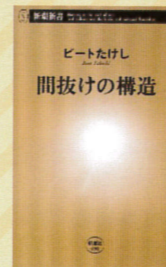


大学院工学研究院 教授
佐藤恭一

宮崎駿氏が選ぶ岩波少年文庫(児童文学)の紹介と自らの読書体験。自分も子どもの頃に読んだ、読まなかった、と確認しながら読み進めるうちに、いつのまにか子どもたちの未来を考えさせられる。

「間抜けの構造」

ビートたけし 著

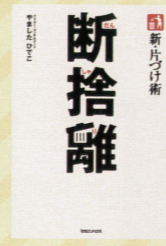


工学部 4年
星野亜衣

芸人、映画監督として活躍するビートたけしが語る漫才、映画、会話、そして人生…この世で一番大事な“間”の話。

「新・片づけ術 断捨離」

やましたひでこ 著



教育学研究科
保科知彦

この本を読んで、気持ちが楽になりました。物を捨てるという行為は、未来を見据えることだと思います。物でなく、本質を見抜くことが大切なのではないでしょうか。旅行に行く時、荷物が多いなと思っている人は必見です。

「人生を変えた時代小説傑作選」

選者 山本一力・児玉清・縄田一男



なんでも相談室副室長
上野博文

現代の3人の文化人が、我が国、古今東西の偉大な文豪が残した短編時代小説6編を選んだ傑作集。人生、そして人間の本質を見事に捉えた珠玉の物語が展開されています。

「兎の眼」

灰谷健次郎 著



経済学部 2年
井上泰介

ゴミ処理場の近くにある小学校に赴任してきた小谷先生が石のように何も喋らない鉄三を始めとする個性的な子供たちと共に色々な出来事に直面して成長していく物語。

「夏草冬漣」

井上靖 著



大学院国際社会科学
研究科 教授
永井圭二

沼津の街と海ですこすこ成長してゆく主人公とその周りの人々を詩情豊かに描いています。青春の思い出の1冊。

今号に登場していただいた学生をはじめ、教員、職員、OBなど横浜国立大学に関わるさまざまな方からお勧めの一冊をご紹介。気になる書籍があったらぜひ読んでみてください。

ヨココク 読書部

お勧めの本を募集しています。

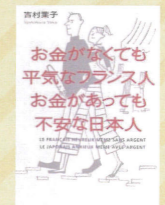
ヨココク読書部では、あなたのお勧めの一冊を募集しています。本のタイトル、著者名、お勧めコメントをご用意の上、ご連絡ください。

【ご連絡先】ヨココク読書部
TEL:045-339-3016
FAX:045-339-3179
E-mail:press@ynu.ac.jp

「お金がなくても平気なフランス人」

「お金があっても不安な日本人」

吉村葉子 著



教育人間科学部卒業生
五十嵐愛

尊敬する先輩アナウンサーから勧められた一冊。生活習慣や価値観の違いを痛感させられました。